

令和6年6月3日～6月9日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況
及び熱中症による救急搬送人員と暑さ指数(WBGT)の関係について
(令和6年度第6報)

環境省大臣官房環境保健部企画課 熱中症対策室

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について(注1)

6月3日～6月9日の全国11都市(注2)の平均値を過去5年間(2019～2023年)の平均値と比較すると、6月7日、8日以外は低くなり、特に6月3日は2近く低くなりました。

総務省消防庁の発表によると、11都道府県(注2)における熱中症による救急搬送人員(注3)の合計は、267人でした(図1)。

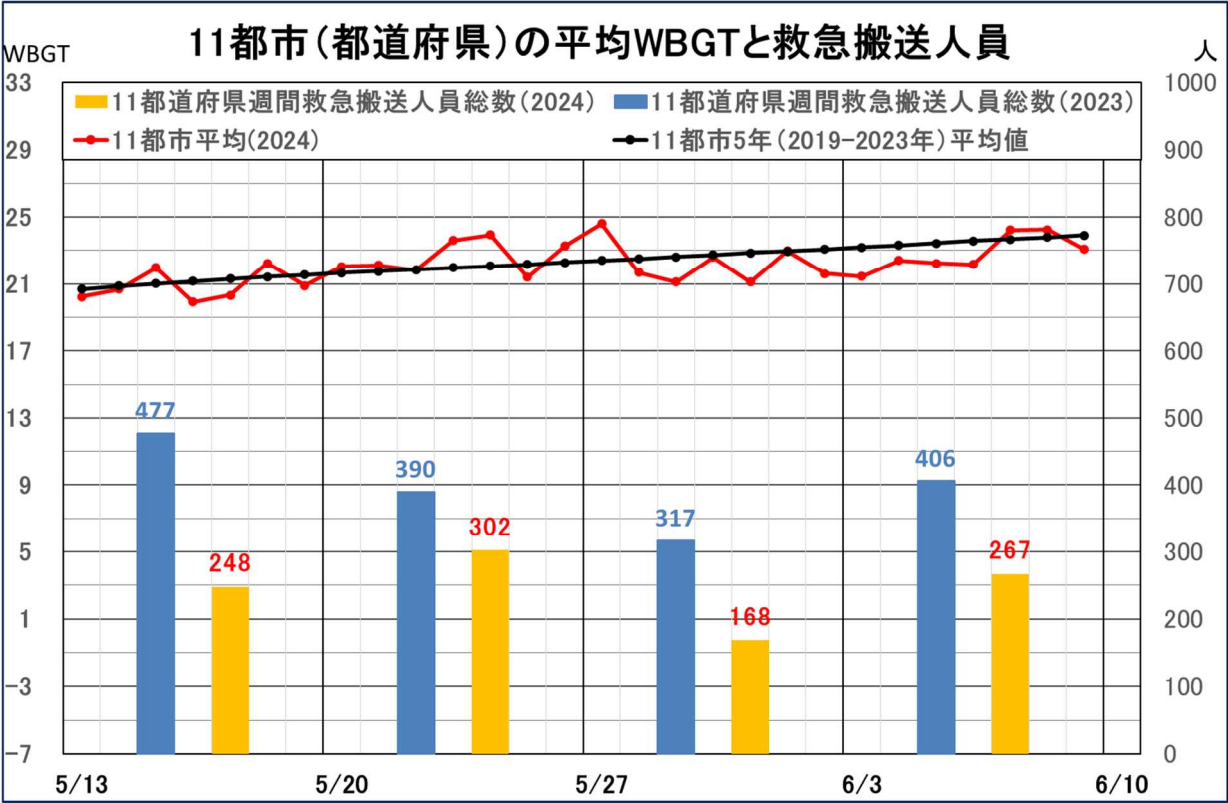


図1 全国11都市の平均日最高暑さ指数(WBGT)状況と救急搬送人員(11都道府県)の動向

全国11都市では、那覇で「嚴重警戒」を示す28以上になる日がありました(表1参照)。

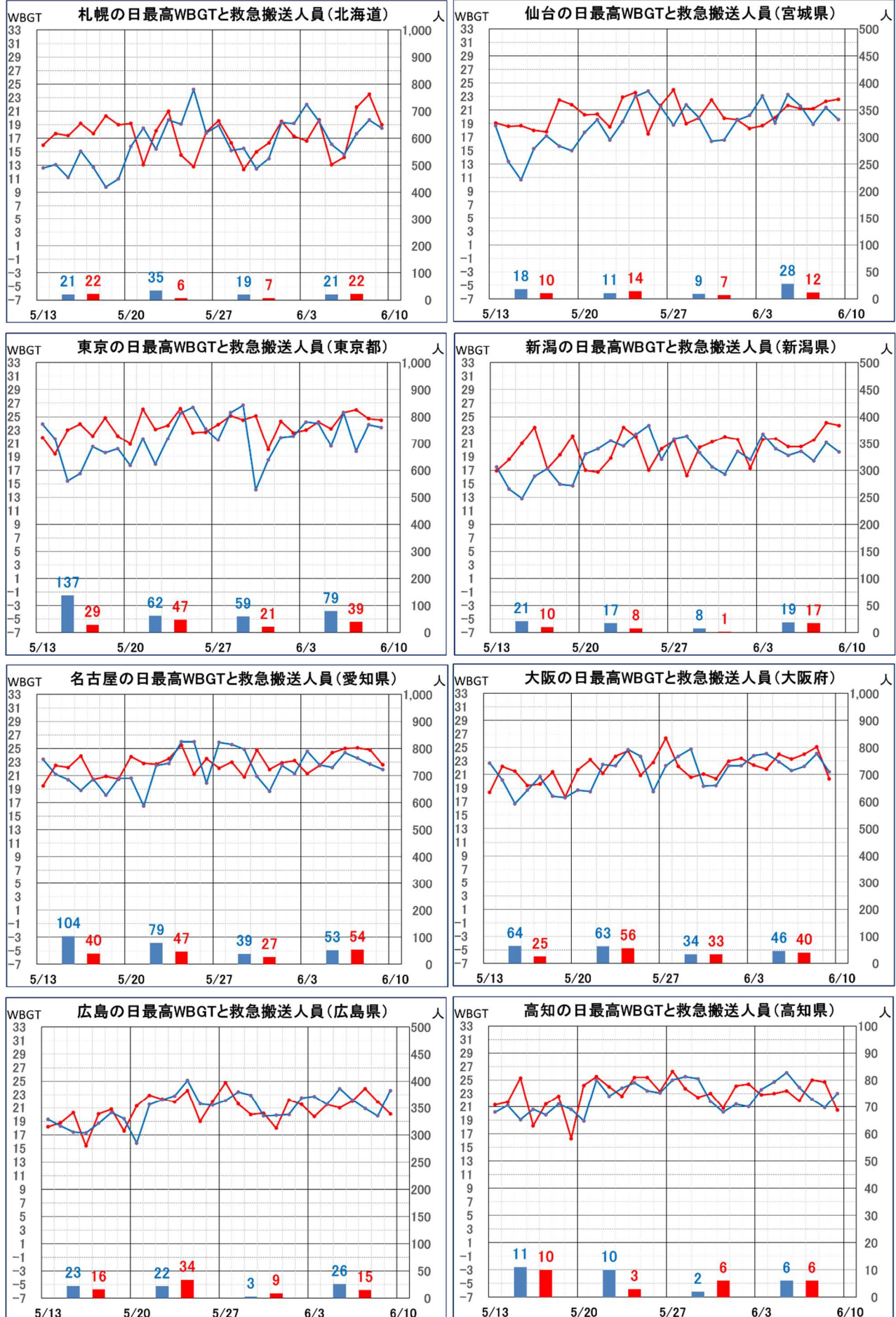
表1 全国11都市の日最高暑さ指数(WBGT)(6月3日～6月9日)

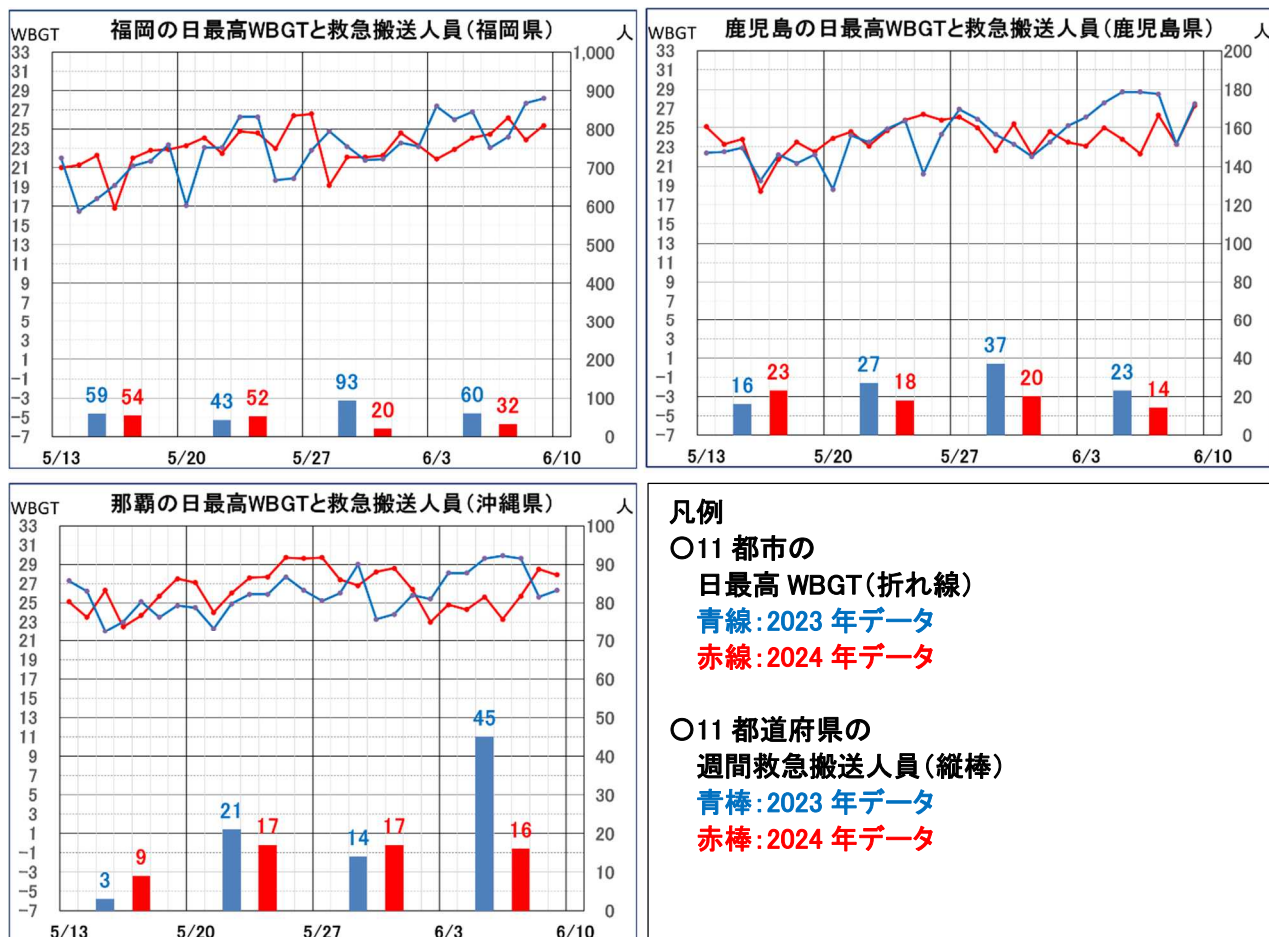
日	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
3	17	19	23	22	21	22	20	23	22	23	25
4	20	20	24	22	23	22	22	23	23	25	24
5	13	22	23	21	24	24	21	23	24	24	26
6	14	21	26	21	25	23	22	22	25	22	23
7	22	21	26	22	25	24	24	25	26	26	26
8	24	22	25	24	25	25	22	25	24	23	29
9	19	23	25	24	23	20	20	21	25	27	28

嚴重警戒	危険(注4)	熱中症警戒アラート	熱中症特別警戒アラート
28以上31未満	31以上	33以上	35以上

注1 本資料の暑さ指数(WBGT値)は速報値です。確定値とは異なる場合があります。
注2 本資料における全国11都市:札幌市、仙台市、東京・文京区、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市
注3 総務省消防庁の発表資料を元に環境省で作成: <https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>
注4 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」では、暑さ指数31以上を「危険」としています。

2. 全国 11 都市の日最高暑さ指数 (WBGT) と熱中症による救急搬送人員の状況





3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

直近4週間（5月13日～6月9日）の、全国（58の府県予報区等）における熱中症警戒アラートの延べ発表回数は以下のとおりです（表2）。なお、この期間において、熱中症特別警戒アラートの発表はありませんでした。

表2 全国の熱中症警戒アラートの発表状況（5月13日～6月9日）

	5/13～5/19	5/20～5/26	5/27～6/2	6/3～6/9
全国	0	1	2	0
（参考）昨年	1 (2023/5/15～5/21)	0 (2023/5/22～5/28)	0 (2023/5/29～6/4)	0 (2023/6/5～6/11)

4. 今後の見通し

気象庁の2週間気温予報の概要は以下となっています（6月12日発表、予報期間6月13日～25日）

北日本と東日本	向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高い日が多く、18日頃まではかなり高い日もある。
西日本	向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため平年並か高い日が多く、14日頃まではかなり高い所もある。
沖縄・奄美地方	向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高い日が多く、沖縄地方では19日頃からかなり高くなる可能性がある。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）